



本号の主な内容

- 2、3面 特集「植栽基盤診断士」
3面 【学会の目・眼・芽】第27回 麻生 恵氏
社会人とコラボする新しいランドスケープ教育の方向
4面 【緑滴】地域特性を活かした景観作り
仲村弘喜

平成23年度公共事業労務費調査実施について 改善事項など周知徹底を

平成23年度公共事業労務費調査実施について、会員への周知を徹底するよう国土交通省から会長宛に通知がありました。

本調査は、翌年度の公共工事の積算に使用される労務単価(建設労働者の1日8時間当たりに行う作業の単価)を決定するために毎年行われているもので、公共工事の予定価格に直接影響する非常に重要な調査です。日造協ではこれまで(社)建設産業専門団体連合会と国土交通省との定例意見交換会

を通じて、昨年・今年と藤巻会長等から「公共工事設計労務単価」が実情に合ったものとなるよう、改善策の実施を要望してきたが、今回の公共事業労務費調査は、日造協からの要望を反映したものであります。①保険加入状況の確認

②資格審査の厳格化 免許等の資格保有が義務付けられている者については、免許証等の写しの提示を行う。③9月の賃金支払い態勢の調査 該当する38職種の労働者については、10月の調査に加えて、9月の調査対象期間中に対象工事に従事している場合も、本調査の対象とし、当該9月の賃金支払い実態を調査する。

④請負約による労働者いわゆる「一親方」に関する説明の記載 請負契約による労働者の実態を調査するため、労働者の賃金と経費の分離を確認するための資料等について「公共事業労務費調査の手引き」に説明を記載する。⑤棄却するおそれのある標本を提示した事業主への通知

⑥有効回答の向上対策 関係各位が実施している説明会等において賃金台帳や就業規則等の様式や作成例を提供する。⑦調査対象外の労働者の確認 調査対象企業は、個々の労働者の技能、年金等の受給状況及び受給に伴う賃金の調整方法等について十分に確認する必要がある。⑧有効回答の向上対策

建設業における取引の適正化については、法令の遵守指導等を通じて、その推進が図られてきましたが、依然として建設業の請負契約における不適切な取引が指摘されていることから、適正化を一層推進する必要があります。このため、11月1日～30日までの「建設業取引適正化推進月間」として、国土

交通省、都道府県の主催で、建設業者等を対象とした講習会、立ち入り検査、ポスターの配布・掲示、ホームページや各種媒体を通じて広報等を行い、法令遵守活動を展開することとなっています。なお、立ち入り検査は、月間期間以外の検査に加え、各許可行政庁ごと、または連携して検査と指導が行われます。

立ち入り検査等を実施

11月は「建設業取引適正化推進月間」

の兼務状況、就業地域の状況、職階の状況、発注機関別の工事の就労状況、基準外手当(割増賃金等)の額、不稼働の状況。

HP(労働基準関係主要様式)、千葉県労働局HP(各種様式ダウンロード可)、富山労働局HP(労働基準法関係様式)などから入手できます。記載にあたって

の留意点については、日造協のメールニュース等でもご案内していますのでご参照下さい(参考まで、平成23年度公共工事設計労務単価を4面に掲載)。

樹林

私が住んでいる兵庫県宝塚市の旧中筋村域に隣接して千年にも及ぶ園芸産業の歴史を持つ旧山本村域があります。この地域は古くから農家が複数の小さな田畑を持ち、稲作と苗木作りを主とした農村地帯です。車社会が到来する以前の時代には大阪で祭りがあれば荷車を引いて売りに行ったりと聞いた事もあります。複数の田のうち今年はこの三枚を米、残りは苗木と事業仕分けを行います。稲作の年には、川↓溜池↓用水路を経て有機物を多く含んだ水を田に入れ稲を育て、秋には刈り取り、田鋤を行います。

ここまでは日本全国で見られる光景ですが、翌年の春には有機物の含まれたこの田に挿し木苗を植えます。

先人達に思う

日造協理事、(株)昭和造園土木代表取締役 坂上 信明



す。苗木生産に必要な無機質の化成肥料の施肥量が少なく済み、2年間苗木を育てた後に出荷し、その翌年は再び稲作を行います。無機質肥料の残った田には有機物が多分に含まれた水で稲は元気に生育します。複数の小さな田で毎年これを繰り返す。苗木生産に必要な無機質の化成肥料の施肥量が少なく済み、2年間苗木を育てた後に出荷し、その翌年は再び稲作を行います。無機質肥料の残った田には有機物が多分に含まれた水で稲は元気に生育します。複数の小さな田で毎年これを繰り返す。

樹特有の清々しい香りが漂っています。苗木(90cm×120cmぐらい)は主に名古屋方面に出荷され成木にして全国に供給されました。地域の人の間で「青いダイヤ」と呼んだカイズカ様々の時代もありましたが、それも今は懐かしい思い出です。ここに心から敬意を表したい。

た。造園技能士、造園施工管理技士、専門工事業、造園工事範囲の拡大など造園建設業の社会的基盤の確立のために旧建設省、農水省、旧環境庁への陳情、要望活動等に努力を惜しまず幾多の困難を乗り越えた先人達に心から敬意を表したい。

返し、稲作と苗木(ヒラド、サツキ、オタフクナンテン、カイズガイブキ、コニファー等)の栽培を行っています。昭和40年代カイズカイブキ全盛期には、春先になると農家の庭先に所狭しに出荷前のカイズカの苗木が並べられ、何とも云えない針葉

の複数の小さな田で巧みに生産環境の持続性を保持する「稲作と苗木作りのローテーション」こそ先人達が我々に残してくれた知恵と工夫の結果、財産であり頭が下がる思いです。昭和46年に(株)日本造園建設業協会が400社余りの会員で発足しまし

昭和60年には国際園芸家協会(AIPH)に加盟し日本の代表団体となり、平成2年には大阪での国際花と緑の博覧会の開幕にこぎつけました。古来代々日本人は、四季を通じて自然とのかかわりを大切にして特有の文化を育んできましたが、この

当たつてきた先人達は、今日の厳しい状況下であっても「志しをもって、できることをやればいい」と云っているような気がします。先人達が残してくれた財産を我々が喰い潰す事のないように、肝に命じ残り少ない人生を送ろうと思う今日この頃です。頑張ろう！日造協。

平成23年度 全国労働衛生週間 本週間10月1日～7日 準備期間9月1日～30日 「見逃すな 心と体のSOS みんなでつくる健康職場」

平成23年度全国労働衛生週間に向けた準備期間がスタートした。今年のスローガンは「見逃すな 心と体のSOS みんなでつくる健康職場」。厚生労働省労働基準局の平野良雄安全衛生部長による「最近の労働安全衛生の動向について(仮)」や、福山大学の田中秀征客員教授による「最近の政治経済」などの講演を予定しています。詳しくは建設防のホームページ(http://www.kensaibou.or.jp/)を参照ください。

国土交通省と(社)建設産業専門団体連合会との定例意見交換会開催 「登録基幹技能者の積極的活用について」など、6項目について国土交通省と意見交換が7月28日に行われた。当協会からは、「公共工事設計労務単価」及び「公共事業労務費調査」のあり方について要望し、「公共工事設計労務単価」が実情にあったものとなるよう「労務費調査」のあり方について、更なる改善要望を行った。



全国労働衛生週間 PRポスター

特集

植物が良好に育つ
土壌環境を整備する
「植栽基盤診断士®」

前号に引き続き、日造協が行っている資格制度「植栽基盤診断士」について、資格制度の概要と、資格者の役割、有資格者の活用事例などを分かりやすく紹介する。

●植栽植物と植栽基盤整備

植栽された植物が良好に生育するためには、樹木の品質や適切な植栽技術だけでなく、樹木の根が良好に生育できるための適切な物理性と化学性を備え、十分な深さと広がりのある土壌が必要であり、この条件を整えることを植栽基盤整備

という。

植栽基盤整備の必要性が十分に認識される以前は、緑化工事の土壌条件が植物にとって過酷であることが多く、植栽後の樹木が生育不良や枯死するという問題を全国的に抱えていた。

そこで当協会は、建設省・土木研究所（現 国土交通

省・国土技術政策総合研究所）の協力をあおぎ、平成2年度より4年間「植栽基盤造成技術に関する共同研究」を実施し、植栽基盤整備について報告書を取りまとめた。

また、平成8年度から11年度にかけ現場の技術者向けに技術研修会を実施し、

植栽基盤整備の重要性を広く周知するとともに、平成15年度に「植栽基盤診断士認定制度を創設した。

この間 国土交通省では、

積算の枠組として「新土木工事積算大系」をまとめ工事工種体系を整理し、公園緑地分野においては「植栽基盤工」が新工種として採用され、平成13年度より直轄工事で本施行となつている。

●植栽基盤診断士の能力と役割

植栽基盤診断士とは、植栽基盤、土壌、植物に関する知識および経験と土壌調査・診断結果をもとにした処方能力を総合的に兼ね備え、植栽基盤整備に係る卓越した技術力を有し、植栽基盤整備工事、植栽工事そ

の他これらに類するものの実施にあたって、植栽対象地の土壌等を調査・診断し、処方を立案する業務を行う専門家である。

植栽予定地の現況調査と診断 植栽基盤とするために必要な改良の計画立案と具体的な処方を発注者等へ施工性・経済性を考慮して明確にデータを示しながら技術提案することがその重要な役割となる。

●植栽基盤診断士になったために

植栽基盤診断士には、「植栽基盤」「土壌」「植物」についての知識と、植栽基盤・植栽に関する調査・設計・施工の実務経験が求められる。

植栽基盤診断士になったためには、植栽基盤診断士補

研修会を修了し「植栽基盤診断士補」となり、植栽基盤診断士認定試験の学科試験と実技試験の順に合格する必要がある。

学科試験と実技試験に合格した後、認定登録を行うことにより「植栽基盤診断士」と称して現場で活躍することとなる。認定者には認定証が発行されるが、最新の情報を取得するため5年ごとに更新手続きが必要である。

受験資格等については日造協のホームページを参照のこと。

●植栽基盤診断士の活用事例

具体的な活躍の場を示すものとして、全国各地の自治体等から発注された工事や委託業務において植栽基盤診断士の関与があったも

のについてまとめた資料が下表である。（平成22年10月12日時点）

資格者の関与が特記仕様書等に明記されたのは、九州地方整備局、東京都、北九州市、また入札時の評価で関与したものは関東地方整備局、九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局、長野県、京都市であった。

また、その他の動きとしては、自治体が作成する設計要領等に引用され、また土壌調査業務を日造協支部が受託するなど、さまざまな関与がされている。

現在830名の植栽基盤診断士と約1200名の植栽基盤診断士補が全国で活躍している。

植栽基盤診断士の活用事例が増加していることは、

昭和9年の「天災と国防」に於いて「工事に関する技術者がわが国特有の気象に関する深い知識を欠き、通り一ぺんの西洋直伝の風圧計算のみをたよりにしたためもあるのではないかと想像される。これについてははなはだ儻々ながらこの際一般工学者の謙虚な反省を促したいと思う次第である。天然を相手にする工事では西洋の工学のみにたよることはできないのではないかと言うのが自分の年来の疑いであるからである。」と述べている。

こうして考えてみれば、造園領域に携わる我々が今ほど主張をせねばならぬ時期はないし、その為にも

専門性をしっかりと客観的に点検、第三者評価を交えた技術的資格の立証と認定をする体系とその維持が欠かせない。

では、その水準が果たして社会の求める方向に合致しているのかの点検作業の意味も含む。

まさに天災を相手にする工事（技術）は西洋の工学に頼る事は出来ないという寺田の指摘を待つまでもなく、我国の自然を知り、素材を知り、自然と共に在る人間社会とその空間を計画し工事し、且つ研究する我々の出番でなくてはならない。

そうした意味からも、資格という技術や技能の客観的点検と、時代の求めに如何に応じるのかについての研鑽の姿勢を社会に示さねばならない。

植栽基盤診断士の資格活用事例 一覧

①植栽基盤診断士による関与が特記仕様書等に明記されている

発注者	内 容 等
東京都港湾局 臨海開発部 海上公園課	平成19年度 海の森公園整備工事の特記仕様書：植栽基盤の建設発生日、堆肥、リサイクル土等の混合割合は図面 配合断面図を標準とするが、植栽土造成に先立ち、植栽基盤診断士の資格を有する者により植栽基盤材料の調査・診断を受け、一定条件内でより適正な混合割合や基盤造成方法等について提案し、都監督員の承認を受けた上で施工すること。
東京都港湾局 東京港管理事務所	平成20年度 海の森公園整備工事（その2）の特記仕様書：客土工における仮置き土、堆肥、リサイクル土等の配合割合等は図面に示したとおりであるが、施工に先立ち植栽基盤診断士による診断を受けるものとする。診断の結果は報告書として提出すること。また、より適切な施工方法等の提案がなされた場合は、監督員の承諾を受けた上で施工すること。
北九州市	小倉北区街路樹植栽帯植栽基盤調査業務委託：本業務は、植栽基盤診断士または樹木医による監修により行うこと。 東部地区街路樹植栽基盤調査業務委託の特記仕様書：本業務は、植栽基盤診断士または樹木医による監修により行うこと。 西部地区街路樹植栽基盤調査業務委託の特記仕様書：本業務は、植栽基盤診断士または樹木医による監修により行うこと。
九州地方整備局 国営吉野ヶ里 歴史公園事務所	古代の森常緑林整備工事の入札公告：「発注者の指定する資格のある配置予定技術者を配置できること」の項目において、配置予定技術者（主任技術者…）以外の予定技術者が樹木医・植栽基盤診断士の資格を有している場合、その内容を別記様式に記載すること。

②入札時の評価に植栽基盤診断士が明記されている

関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所	平成21年度 昭和自然資源管理その他工事の入札説明書：企業の技術力（配置予定技術者の能力）の項目で、継続教育（CPD）の証明（推奨単位以上取得）又は植栽基盤診断士の資格又は街路樹剪定士の資格を保有する技術者が評価
長野県	新客観点数として加点する民間資格等技術者一覧：植栽基盤診断士及び診断士補が加えられた。
京都市	「壬生櫓公園再整備工事」の一般競争入札における技術資料の評価：……配置予定技術者が植栽基盤診断士資格を有していること及び1級造園施工管理技士資格を所有して5年以上の経験を有していることについて評価することとしている。
九州地方整備局 福岡国道事務所	福岡外環状道路（1工区）植栽工事に係る入札説明書：総合評価に係る技術資料の作成方法において、（5）企業の施工実績・技術者保有に基づく信頼度で、「植栽基盤診断士の資格が証明できる書類等を添付すること」とある。
内閣府沖縄総合事務局 開発建設部南部国道事務所	「南部国道植栽維持工事」における総合評価：配置予定技術者の能力の項目において、造園基幹技能者・植栽基盤診断士（5点）、街路樹剪定士（3点）が加点対象になった。

■その他の動き

秋田市	（社）秋田県造園協会が秋田市から「千秋公園桜樹勢調査土壌診断業務」を受託し、資格を保有する日造協の会員が協力した。
岐阜県	「道路設計要領」12章 緑化：客土（植栽基盤）施工にあたっては、土性、透水性、土壌硬度、pH、腐植の現場での試験をして、改良案を提示しなければならない。植栽基盤診断士の指導・助言を受ける。
福岡県	日造協会員企業が植栽基盤整備の調査業務を受託。道路緑地の50m以上には植栽基盤診断を義務付け。
北九州市	植栽基盤調査にかかわる価格が設定された。

※事例は日造協に寄せられた情報を基に作成したものです。最新情報等は各発注機関にお問合せください。

書籍の紹介

植栽基盤整備に関する書籍のご案内

日造協では植栽基盤整備全般に関する「植栽基盤整備

社会的に認知されている結果であると考えられる。造園の技術者は植えた樹木を絶対に枯らさないという自信と誇りを持ち、植栽基盤整備については必要最低限の知識として習得していただきたい。

「植栽基盤整備ハンドブック」は、植栽基盤の基本的事項、土壌、植栽基盤整備の概要から調査・診断・整備工法まで幅広くとりまとめたもので、2005年に初版が発刊され、「植栽基盤診断士補研修会」のテキストとして利用している。

（土壌断面・土性土色・土壌硬度・透水性）、化学性（pHとEC）について、調査の目的から調査器具の特徴と取り扱い方についてわかりやすく解説している。購入は日造協のホームページから申し込み。「植栽基盤整備ハンドブック」定価5000円（会員価格3000円）、「植栽基盤整備調査のてびき」定価2000円（会員価格1500円）。送料込（特集3面に続く）

北九州市の植栽基盤診断士 制度の活用について

北九州市建設局公園緑地部長

横矢 順二

1. 経緯

本市では平成16年度に実施した植栽工事において、施工後、1年以内に、地被類が全滅、高木も多くが枯死するという事例が発生しました。また、それ以前にも植樹帯の低木等が徐々に枯死していく現象も見られていました。

これらの原因を調査したところ、一見何も支障のないような植樹帯でも道路造成時点での地盤処理などにより、「植栽基盤」では様々な障害を抱えているということが判りました。

具体的に説明しますと、これまでの植栽工事では、植穴の大きさ、深さ、土壌改良材の量、施肥、支柱の取付け状況等は、検査によりきちんと管理していました。

また、例えば地下水位が高そうな場合には、あらかじめ高植えや酸素管等の使用を指示し、アルカリ分が予想される場合などは土壌改良も行うなど、表面的に障害が予想される箇所への対応は出来て

いました。

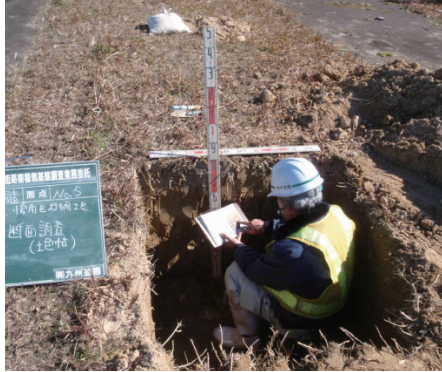
しかし、植え穴の下部、つまり「植栽基盤」に対し、きちんとした管理・対応が図れていないことが今回の枯死につながったものと考えました。（植栽基盤の良否がその後の生育の良否を決定する）

2. 「植栽基盤調査」について

そこで、この課題に対処するため、平成20年度から市内全域で植栽基盤診断士による「植栽基盤調査」を実施することとしました。

この取り組みは、まず、「植栽基盤」の重要性を周知するため、植栽基盤診断士にお願いし、道路工事担当者・コンサルタントを対象にした講習会を開催しました。

次に道路の設計段階では、設計担当者やコンサルタントに対し、植栽基盤の排水性を確保すること等を



断面積調査状況

考慮することを求めました。

そして、工事の段階では、植栽基盤診断士等による「植栽基盤調査」を必須項目と定め、実施しています。この調査では、特に土壌硬度と透水性に重点を置いた調査とし、この結果に基づいたアドバイスをいただき、適切な対応を行っています。

更に、平成21年度には市内全域で、生育の悪い植樹帯を対象に植栽基盤診断士による植栽基盤診断を行い、現場にあった具体的な対応策の提案をいただき、改善に役立たせています。



貫入試験状況



透水試験状況

3. 今後の展開

北九州市は、世界の環境首都を目指しており、より質の高い「緑」を創造するため、この「植栽基盤調査」は、今後も重要な取り組みであると考えています。

また、近年、ゲリラ豪雨

の対応や都市の微気象を緩和する施策として、雨水を植樹帯にいったん流し込み、徐々に地下に浸透させる手法も考えられています。このような次世代の考えに基づいた植樹帯の設置にも、植栽基盤調査による

構造決定が重要な役割を果たすものと考えています。多くのまじめな造園業者さんがいくら努力しても、植栽する土台（基盤）の状態がしっかりとしたものではないれば良好な樹木の成長は望めません。

これからの植栽基盤診断士の方々と協働し、講習会の開催や現場でのアドバイスを適切に実施し、緑にあ

ふれた本市のまちづくりを進めて行きたいと考えています。

植栽基盤調査の実施要領

- 調査機関
樹木医、街路樹診断協会会員、植栽基盤診断士など
 - 調査の実施
街路樹整備を伴う延長50m以上の道路工事で、植栽基盤調査を行う。植栽基盤調査にかかる助言指導は緑政課が行う。
 - 土壌に係る調査（土壌調査）
 - 土壌調査は植栽地に使用する発生土及び客土（真砂土）について行い、調査数は土壌採取場所の状況等により決定する。
 - 植栽地構造に係る調査（現地調査）
 - 現地調査は、植栽地の形状により下表のとおりとする

植栽地の形状	単位当り	現地調査地点数
植樹帯	植樹帯10箇所当り	1箇所
植樹帯	植栽延長50m当り	1箇所
中央分離帯	植栽延長50m当り	1箇所
その他植栽地	植栽面積100㎡当り	1箇所

植栽地の形状と植栽基盤調査地点数

* 地形等の諸条件が明らかに異なる変化点がある場合やより詳細な調査が必要な場合は、適宜調査地点数を増やす。
- 調査時期
・植栽地の位置が現地であらかた決定した段階で現地調査を行う。
・植栽地に使用する土壌が分かった時点で土壌調査を行う。
* 調査時期については、調査結果を基に改良工事を行う時点で手戻りにならないよう工夫すること。

学会の目・眼・芽

第27回

5年前から東京農業大学の社会人向け教育機関であるエクステンションセンターのセンター長を拝命した。当センターは大学が培ってきた研究成果や教育ノウハウを社会に還元し、大学（あるいは各教員の専門分野）の魅力をアピールすること、大学のファンを獲得しながら、大学の社会貢献にもつなげようというものである。私の就任以降は、人気の高い「体験型講座」を増やし、座学は減らす方向で運営してきた。

私の担当する講座では、地域のランドスケープへの理解を広めようと「里山風景ウォッチング」で多摩丘陵のフットパス運動をアピールしたり、更に「参加協働型講座」と称して受講者（熟年世代が多い）と一緒に地域に出かけ、地域づくりをお手伝いするというユニークな講座を続けている。今春の講座では能登の農山村に出かけ、そこで里山（文化的景観）の魅力を活かして地域興しに取り組

む方々と一緒にワークショップを行う。その活動を応援したり、富士山麓の朝霧高原では、受講者が地域の方々と協働して「カヤの再生と地域づくり」をテーマとしたシンポジウムを企画・運営した。

こうした一連の活動を行って、ランドスケープ分野の教育に関わる者として、いろいろ感じることを考えさせられることがあった。

一つは、熟年世代の中には学生以上にランドスケープに深い興味と愛着をもち、地域の美しい風景や文化を守りたいという使命感や熱意をお持ちの方が多いということである。

彼らは豊富な人生経験・社会経験に支えられた高い見識や行動力を持ち、現役学生とは全く異なる能力の持ち主である。成熟社会への移行により、こうした人たちは年々増えているように思われ、一般社会人がランドスケープを学べる場や機会をさらに増やす必要があるだろう。

もう一つは、こうしたワークショップ

社会人とコラボする新しいランドスケープ教育の方向

ツプ型の講座に学生を参加させることが思わぬ効果を生むということであった。キャンパス内での従来の授業では、地域の仕組みが理解できない、使命感やモチベーションが身に付かないといった座学の限界があった。しかし、熟年世代の受講者と一緒に地域に出かけ、さらに地元で活躍する方々とコラボレーションし、若い力として現場で頼りにされ感謝されることで、社会的使命感などのプロ意識が育っていく。地域のランドスケープを支える社会の仕組みは現場の人との交わりの中で体験的に学ぶしかない。一方で、社会的使命や専門技術者としての意識、社会ニーズさえ実感させてあげれば、学生はテクニックや知識はいくらでも自発的に学ぶようになるだろう。

造園への社会ニーズは、景観法の施行や文化的景観のスタートに象徴されるように、よりオープンな、地域の人々の営みの中から出来上

がった風景や環境を扱う方向に、さらにはそれを支える社会や経済のシステムまでを扱う方向に拡大している。大学の教育分野でいえば、「造園」という領域の枠がばやけてきて、同様に地域づくりに関わる林学や環境経済学など周辺領域との境界が見えづらくなっている。またそれぞれの分野が同じような社会ニーズを感じ、同じような教育内容にシフトしようとしているようにも感じられる。

最後に、30年以上にわたって運営されてきた農大成大という通年講座が今春より農大エクステンションセンターに合併吸収されることになった。そこで、これを機会に「緑の地域づくりコース」という地域の担い手養成を目的とした新講座を立ち上げた。さらに将来は、学部教育においても地域づくりに関わる学科は社会人も自由に学べるようにし、学生と社会人がお互いに学び合い刺激し合えるような、そんな教育システムが出来ることがを願っている。

麻生 恵

(社)日本造園学会理事、東京農業大学教授、農大エクステンションセンター長

syngenta®

飛散しない!! アメリカシロヒトリの駆除に!!

殺虫剤／樹幹注入剤

アトラック® 液剤

樹幹に直接注入するので
飛散せず安全・簡単・確実に
駆除できます!!



街路樹

公園

学校

幼稚園

病院

このような場所でご利用いただけます!!

®はシンジェンタ社の登録商標

【販売・お問い合わせ】

井筒屋化学産業株式会社

〒860-0072 熊本県熊本市花園1丁目11-30

TEL.096-352-8121 FAX.096-353-5083

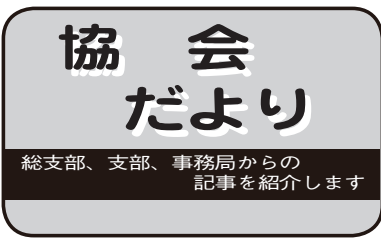
担当:小松

北陸総支部・支部交流会

意見交換会を実施

北陸総支部は7月28日、交流会を新潟県東急インで開催した。

磯部久人総支部長ほか26名が出席、本部からは佐々木吉和副会長、高梨雅明常任顧問、野村徹郎技術調査



北陸総支部・支部交流会の様子

部長が出席した。

冒頭、磯部総支部長が挨拶し「こうした機会に日造協に対する思いを交換したい」と述べた。次いで、佐々木副会長から「今後、造園

学会との連携を深めていきたい。震災復興の予算も縦割りを廃してワンストップで行えるよう要望していく。公共事業の発注の割り振り、不明確なため先はまだ見えない。忌憚のない意見交換を期待したい」と述べた。

次いで、高梨常任顧問から本部の活動報告を行った。続いて意見交換会に入り、北陸総支部からの意見として「現場代理人が造園工として認められていない。低賃金の者が対象となっている。改善できない

か?」。これに対し、本部から「造園工の定義に資格を入れられるかどうか、国交省にも投げかけたい」と回答。

資格制度等については、「日造協の資格取得を容易にできないか、また、CPDの取得単位で更新講習に代えることができないか?」との声も。「造園CPDについても活用を提言して行きたい。更新講習の実施方法も、改善を検討中」と回答。

また、「造園の技術を発揮する場を与えてもらいたい」「造園施工管理の講習会を会員限定で開催してもらえないのは、会員のメリットである」「北陸地方整備

局との意見交換会を昨年10月に実施した。国交省との意見交換会を定期的に行うことが大切である」とな

どの意見が出され、他にも伝統的技術の講習会開催や、公共事業労務費調査時期の改善などの要望が話題にあがった。

（事務局長 渡辺洋一）

委員会等の活動

国土交通省公園緑地・景観課との意見交換会

（8月4日木）

国土交通省小林大臣官房審議官及び舟引公園緑地・景観課長他と、当協会からは藤巻会長他が出席し、公

（8月8日月）

移行認可申請に係る「事業区分経理の内訳表等」及び「会費徴収規程」について検討を行った。

（8月4日木）

国土交通省と建専連との定例意見交換、建設物価調査会との意見交換開催等の報告。

9月開催予定の臨時理事会の議案、日造協災害等義援金拠出要綱等について審議を行った。

（8月5日金）

事業委員会 事業企画部会

（8月5日金）

発注庁等への要望のあり方などについて、情報・意見交換等を行った。

新法人移行検討プロジェクトチーム会議

（8月18日木）

総務委員会（広報部会HP検討会議）

（8月22日月）

造園施工管理受検対策講習会

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

（8月22日月）

平成23年度公共工事設計労務単価

単位：円

都道府県名	造園工	都道府県名	造園工	都道府県名	造園工
01 北海道	13,600	17 石川県	14,900	33 岡山県	14,500
02 青森県	14,000	18 福井県	15,800	34 広島県	14,400
03 岩手県	14,000	19 山梨県	15,500	35 山口県	14,500
04 宮城県	14,200	20 長野県	15,100	36 徳島県	13,800
05 秋田県	14,000	21 岐阜県	15,700	37 香川県	14,000
06 山形県	14,100	22 静岡県	15,200	38 愛媛県	13,900
07 福島県	14,500	23 愛知県	15,500	39 高知県	14,000
08 茨城県	15,500	24 三重県	16,300	40 福岡県	14,000
09 栃木県	15,300	25 滋賀県	15,700	41 佐賀県	13,900
10 群馬県	15,000	26 京都府	16,000	42 長崎県	13,900
11 埼玉県	15,300	27 大阪府	16,000	43 熊本県	14,200
12 千葉県	16,000	28 兵庫県	15,200	44 大分県	13,900
13 東京都	16,000	29 奈良県	16,400	45 宮崎県	13,800
14 神奈川県	15,700	30 和歌山県	16,600	46 鹿児島県	13,900
15 新潟県	14,100	31 鳥取県	14,700	47 沖縄県	14,400
16 富山県	14,000	32 島根県	14,400		



造園施工管理講習会の様子

（9月1日木）

一般社団法人移行認可申請及び東日本大震災に伴う被災会員の会費免除等について審議を行った。

（8月31日水）

今後の財政及び法人運営を検討するに当たり、課題の洗い出し等の検討を行った。

（8月31日水）

国土交通省公園緑地・景観課との意見交換会

（8月31日水）

（8月31日水）

（8月31日水）

福祉施設で生産した「花」を豊かな街づくりに活かしてください。

業者様向けの種・苗・園芸用品・農業資材なら

花と緑のハートネット

http://www.ai-hana-net.com

キーワード検索では 花と緑のハートネット 検索

日造協賛助会員の紹介 34

（一社）花と緑のハート事業協会

一般社団法人花と緑のハート事業協会は全国の社会福祉法人・施設等の有志が集う法人です。平成21年8月に設立し、生産・販売の準備を進め、翌年2月より販売活動を始めました。

す。当協会では公共工事や一般造園工事に使われるグランドカバー植物を主体に販売を行っています。ニーズに合わせて、生産可能な商品を手がけ、季節の花弁等受注生産も承ります。安定した品質はもちろん、安価に提供できる事を目指し、無料会員登録もお願いしています。

我々は障がい者の雇用・就労の機会や社会参加事業の振興の推進を目指しています。多くの障がい者の就労雇用機会は、長引く不況の煽りを受け減少していま

〇お問い合わせは
花と緑のハートネット又は事務局へ
082-251-8208

総務委員会（広報部会）

（9月2日金）

ホームページリニューアル、広報日造協特集記事企画、広報日造協9・12月号について検討を行った。

植栽基盤診断士認定試験（学科試験）

（9月4日日）

全国10カ所の会場で一斉に実施し、受験者数は173名であった。

事務局の動き

【8月】

4（木）国土交通省公園緑地・景観課との意見交換会

5（金）事業委員会（事業企画部会）

8（月）新法人移行検討プロジェクトチーム会議

22（月）造園施工管理講習会（北陸総支部）

25（火）資格制度検討会議

28（水）造園施工管理講習会（北海道総支部）

30（金）登録造園基幹技能者試験委員会

20（火）建設系CPD協議会

21（水）新法人移行検討プロジェクトチーム会議

22（木）地域リーダーズ会令

25（日）AIPH総会

26（月）登録造園基幹技能者講習委員会

28（水）臨時理事会

30（金）総務委員会（広報部会）

財政・運営検討チーム会議

16（金）植栽基盤診断士認定委員会

15（木）優秀施工者国土交通大臣顕彰式

14（水）総支部長等会議

6（火）造園CPD企画会議

2（金）総務委員会（広報部会）

31（水）事業委員会（公益活動部会）

29（月）造園施工管理講習会（沖縄総支部）

26（金）造園・環境緑化産業振興会事務局会議

29（月）造園施工管理講習会（沖縄総支部）

31（水）事業委員会（公益活動部会）

財政・運営検討チーム会議

1（木）運営会議

建設系CPD専門部会

登録造園基幹技能者試験委員会

植栽基盤診断士認定試験（学科試験）

4（日）

16（金）植栽基盤診断士認定委員会

15（木）優秀施工者国土交通大臣顕彰式

14（水）総支部長等会議

6（火）造園CPD企画会議

2（金）総務委員会（広報部会）

31（水）事業委員会（公益活動部会）

29（月）造園施工管理講習会（沖縄総支部）

26（金）造園・環境緑化産業振興会事務局会議